

© 創通・サンライズ

**HG**  
UNIVERSAL CENTURY



**AMX-009 DREISSEN**  
NEO ZEON MASS-PRODUCED MOBILE SUIT

1/144 AMX-009「ドライセン」HG

創通  
© BANDAI  
サンライズ  
0189179

機動戦士  
ガンダム  
Z

BAN  
DAI

BANDAI 2014 MADE IN JAPAN この商品には、「HGUC ドライセン」が1体のみ入っています。パッケージの画像と商品とは多少異なりますのでご了承ください。



# AMX-009 DREISSEN

## NEO ZEON MASS-PRODUCED MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : AMX-009  
HEAD HEIGHT : 22.0m  
WEIGHT : 36.7t  
TOTAL WEIGHT : 66.8t  
GENERATOR OUTPUT :  
2,380 kw  
THRUSTERS TOTAL  
PROPULSION : 107,800kg  
MATERIAL :  
GUNDARIUM ALLOY  
ARMAMENTS :  
TRIPLE BEAM CANNON  
TRI BLADE  
BEAM TOMAHAWK  
BEAM LANCER



1/144 SCALE

**HG**  
UNIVERSALCENTURY

GUNDAM.INFO Search

[www.gundam.info](http://www.gundam.info)

バンダイホビーサイト▶ [www.bandai-hobby.net/](http://www.bandai-hobby.net/)  
Fees accrued by your communication and connection to the internet are  
under customer's responsibility.  
ホームページにアクセスする際の通信料等はお客様の責任となります。

機動戦士  
**ガンダムZ**

BANDAI 2014 MADE IN JAPAN

●画像の完成品は塗装してあります。

0189179

**BAN  
DAI**





DETAIL

ディテール



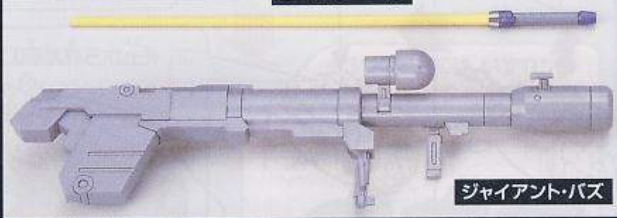
背部スラスター

胸部ディテール

足裏ディテール

プラモデルオリジナル武装

ヒート・サーベル



ジャイアント・バズ

\*一部の画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

COLOR GUIDE

\*よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。

\*塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

\*カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●本体等ブルー部：



ブルー(80%)  
+パープル(20%)

●関節等グレー部：



グレー(60%) + ホワイト(30%)  
+ コバルトブルー(10%)

●本体等ダークブルー部：



ブルーグレー(60%)  
+ インディブルー(30%)  
+ デイトナグリーン(10%)

●武器等イエロー部：



イエロー(50%) + ホワイト(30%)  
+ オレンジイエロー(20%)

●本体等レッド部：



モンザレッド(40%)  
+ オレンジイエロー(40%)  
+ ホワイト(20%) + ブラック(極少量)

●センサー等ピンク部：



ピンク(100%)



# Scanned by Dalong.net

## AMX-009 DREISSEN

AMX-009 ドライセンは、アクシズが開発した汎用MSである。旧公国軍のMS-09 ドムの系譜にある機体で、実際、一年戦争時最後の機体であるMS-09R-2 リック・ドムIIを祖型に据えているとする説もあるが定かではない。地球侵攻を想定し“圧倒的なパワーを持つ陸戦用の機体”をコンセプトとして開発されたが、宇宙空間でも運用可能な優れた汎用性を備えている。生産性も非常に高く、第一次ネオ・ジオン戦争後期における主力機とも呼べる機体であった。アクシズにおいては、“ドムの最終発展型”として開発された機体だが、兵装に関してはアップデートが施されており、ビーム・ランサーとビーム・トマホークといった近接戦闘用の武装や、両腕部の3連装ビーム・キャノンなどを標準装備としている。また、3枚の実体刃を展開し回転しながら目標を切り裂くパーニア付きの投擲兵器トライ・ブレードの装備など、革新的な試みも導入されている。無論、同時期の標準的なビーム兵器も運用可能で、AMX-1107 パウ用のビーム・ライフルをはじめ、幅広い兵装を運用することが可能である。アーガマ部隊のガンダムチームとの戦闘記録も多く、カラバのエルゴレア基地破壊やキリマンジャロ基地の制圧、ラカン・ダカランの部隊によるダブリン周辺でのコロニー落としに伴う被害拡大のための作戦行動の際にも多数投入されている。また、グレミーの謀叛以降も、ハマーン軍とグレミー軍を問わず多数が確認されている。ちなみにグレミー軍に所属する機体は、グレーを基調とする塗装に変更されていた。整備性や拡張性も非常に良好であったらしく、バックパックを換装したビーム・ランチャー装備型や複数のビーム・ライフルを装備した火力支援型などのバリエーションも検討され、いくつかの試作機が実際に建造されたとする資料も存在するほか、U.C.0090年代後半にも公国軍残党による運用例が報告されている。



### トライ・ブレード

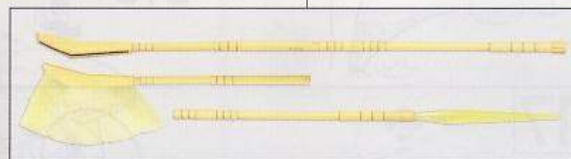
射出時に入力された座標を目指して自律的に飛行する投擲兵器。遠隔誘導されているわけではない。回転と同期した多方向出力制御によって進行方向を調整しつつ、ブレードで対象を切り裂き破壊する。基部は汎用ラッチとしても流用できる。

### 各部スラスター

基本的にはほとんどのパーニアが熱核ジェット/ロケットエンジンとなっており、デフォルトの状態ですべて宇宙空間から重力下まで運用可能。ちなみに、腰部と脚部のものは、特にホバー用途に特化された防塵処理が施されている。

### 3連装ビーム・キャノン

各砲身ごとにエネルギーCAPシステムを内蔵するビーム・キャノン。一門ずつでの連射や同時に発射することで威力を高めた収束ビームを撃ち分けることも可能。通常は腕部装甲内に収納されている。



### ビーム・トマホーク/ビーム・ランサー

近接戦闘用の斬撃/刺突兵装。“トマホーク”ユニットはリアタイプのビーム・エミッターを内蔵しており、“斧”のような形状のビームを形成する。“ランサー”ユニットは、貫通力の高いピック状のビームを形成する。双方は連結してリーチを稼ぐこともでき、状況によって使い分けができる。

### SPEC

型式番号：AMX-009  
頭頂高：22.0m  
本体重量：36.7t/全備重量：66.8t  
ジェネレーター出力：2,380kw  
スラスター総推力：107,800kg  
装甲材質：ガンダリウム合金  
武装：3連装ビーム・キャノン  
トライ・ブレード  
ビーム・トマホーク  
ビーム・ランサー





**AMX-009 ドライセン**

●画像はイメージです。

ドライセンは、TVシリーズ「機動戦士ガンダムZZ」などに登場した量産型MSである。U.C.0089年10月9日、リーダーのディドー・カルトハをガンダムチームとの戦闘で喪ってしまった“青の部隊”は、ディドーの遺言に従い、身を寄せていたグレミー・トトを新たなリーダーとして迎え入れる。同月14日、青の部隊が拠点のひとつとするガルダーヤの街を、ネオ・ジオンの基地にしよと目論むオウギュスト・ギダン率いるミンドラの部隊が襲う。アフリカ解放戦線の指揮官ガデブ・ヤシンと共同戦線を張っていたオウギュストは、彼らの民族闘争を利用してネオ・ジオンの勢力を拡大しようとしていたのだ。そこにグレミーが立ちはだかり、“ガンダムチーム”がディドーの仇であることを告げ、ガデブの関心をガンダムチームへと誘導する。「オウギュスト、ドライセンを出せ」ドライセンに乗り込んだグレミーは、青の部隊のエロ・メロエの

MS-14A ゲルググとガデブのMS-09G ドワッジの間に割って入る。「仲間の戦術論の違いは、後で協議しろ。今はガンダムだ。私はディドーの志を果たしたい」言葉巧みに、ガルダーヤの処遇を巡って対立するエロとガデブの糾合に成功したグレミーは、そのまま2機を従えガンダムチームに戦いを挑む。そもそも、出奔したルーを捜していただけのガンダムチームは、押っ取り刀で対抗するものの、なかなか反撃できずにいた。はたして、ばらけていた3機がMSZ-010 ZZガンダムに合体するや、グレミーを庇ったエロのゲルググはビーム・サーベルに貫かれて爆散し、ガデブのドワッジもダブル・ビーム・ライフルで真っ二つにされてしまった。「……これまでか、許せ、ディドー・カルトハ!!!」自らのドライセンも左腕を失ったグレミーは、無念を抱えつつも後退を余儀なくされ、ミンドラごとガルダーヤの街から撤退することとなってしまった。

**HGUC** ※この商品には、「HGUC ドライセン」シリーズラインナップが1体のみ入っています。

**ドム系などの重MSがたどる、進化の歴史を確認せよ!!**



ジオン軍が開発した重MS。地上用/宇宙用と作られる。

リック・ドムを元に空戦戦闘用に開発した後期生産型。

ドムの設計思想を持つといわれるガンダム。

ドム系MSを思わせる外観を持つエウゴの量産型MS。

ネオ・ジオン残党軍「袖付き」が使用したドム系の発展型。

**HGUC No.059**  
ドム/リック・ドム

**HGUC No.090** リック・ドムII  
ライトグリーンバージョン

**HGUC No.066**  
ガンダムGP02A サイサリス

**HGUC No.033** リック・ディアス  
(クワトロ・バジーナカラー)

**HGUC No.124**  
ドライセン(ユニコーンVer.)



**個性的なシルエットを持つZZの様々なMS達をHGUCで体感せよ!!**



大量のミサイルを装備するジム系の量産型MS。

エウゴが開発した可変合体MS。

上半身と下半身が分離する可変分離MS。

アクシズで開発されたザク系の汎用MS。

ネオ・ジオンの量産型水陸両用MS。

**HGUC No.126** ジムIII

**HGUC No.111**  
ダブルゼータガンダム

**HGUC No.015** パウ

**HGUC No.014** ザクIII

**HGUC No.143**  
ザク・マリナー





※部品はきれいに切り取り、向きや左右などイラストを良く見て組み立ててください。

Scanned by Dalong.net

**1**  
 ×2  
 2個作る  
 C17 (C37)  
 PC11  
 D16 (D26)

**2**  
 1  
 D18  
 A17  
 A16  
 PC5

**3**  
 B7  
 A22  
 B6  
 E4  
 E6  
 (向きに注意)

**4**  
 A10  
 A11  
 A9  
 A14  
 (向きに注意)  
 (シール)  
 (シール)  
 (2枚は予備です。)  
 (シール)  
 (向きに注意して貼るシール)

**5**  
 ×2  
 2個作る  
 (C310) C110  
 C19 (C39)  
 PC7  
 (C36) C16  
 (C34) C14  
 (C36) C16  
 ※切り取らないように注意してください。

B4  
 B9  
 B8  
 (向きに注意)

**6**  
 ×2  
 2個作る  
 PC10  
 B12  
 (向きに注意)

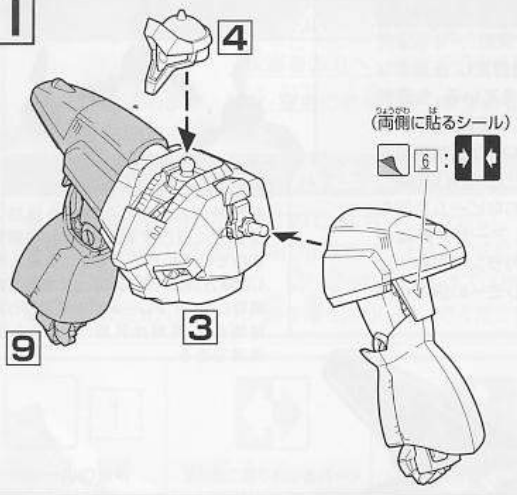
**7**  
 ×2  
 2個作る  
 PC13  
 D16 (D26)  
 (向きをかえます。)  
 D13 (D23)  
 PC6  
 (向きに注意)  
 (後に相む)  
 (D20) D12  
 D140 (D240)

**8**  
 ×2  
 2個作る  
 (C318) C118  
 C17 (C37)

**9**  
 (シール)  
 (シール)  
 (シール)  
 (シール)  
 D120  
 D121

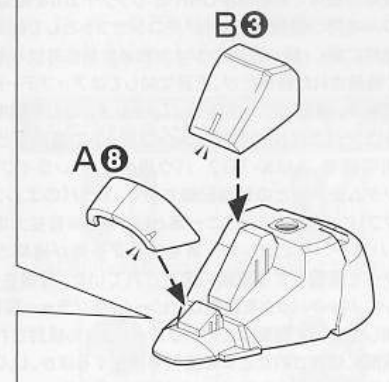
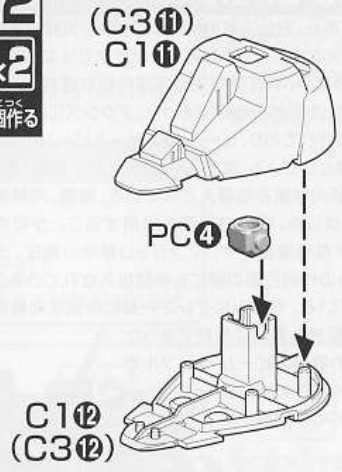
**10**  
 8  
 (シール)  
 (シール)  
 (シール)  
 (シール)  
 D122  
 D123

11



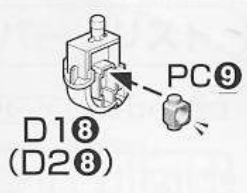
12

x2  
こっく  
2個作る



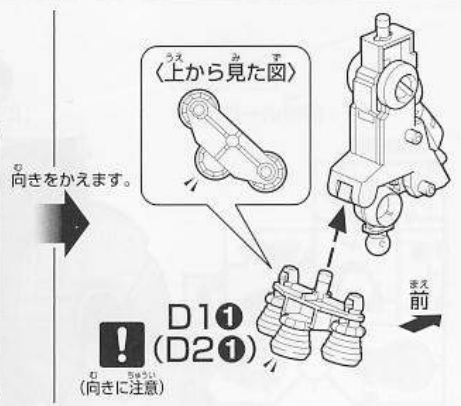
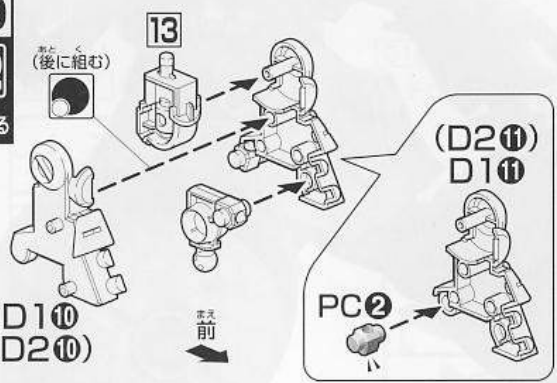
13

x2  
こっく  
2個作る



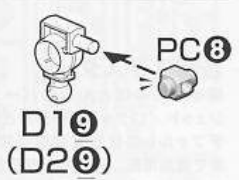
15

x2  
こっく  
2個作る

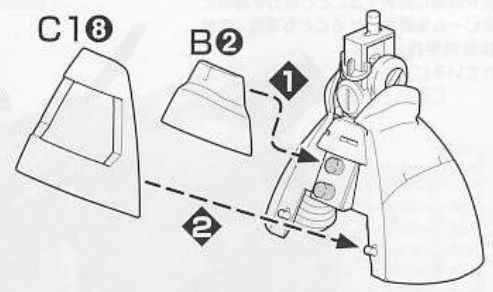
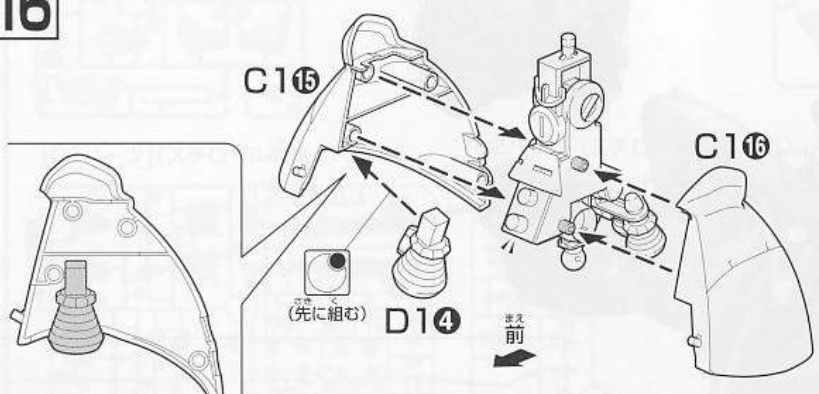


14

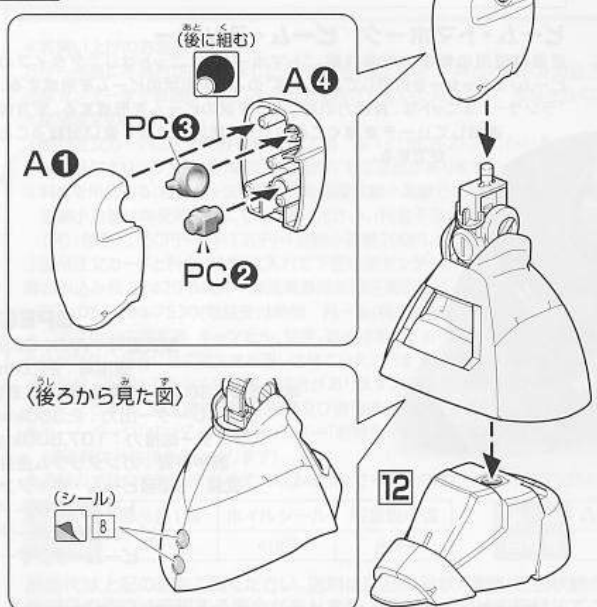
x2  
こっく  
2個作る



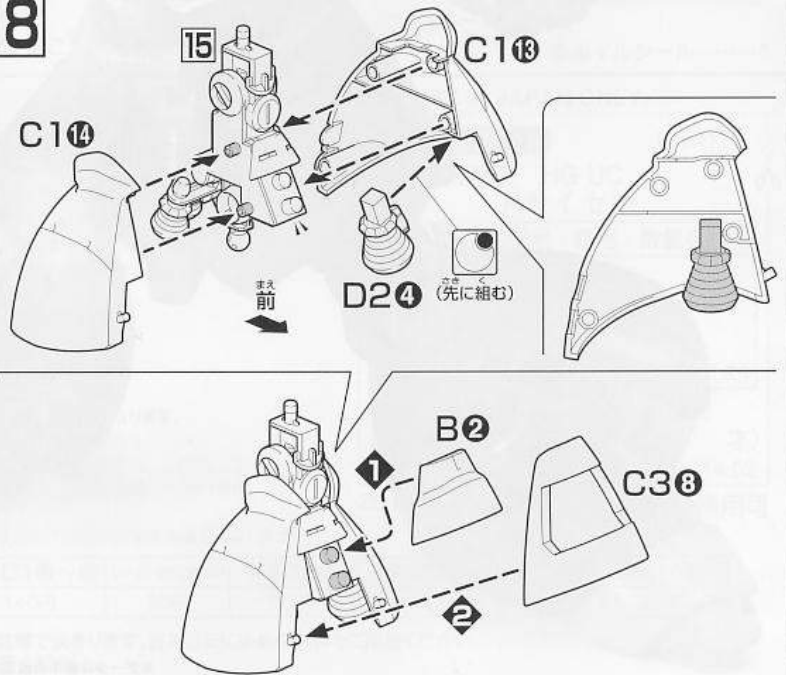
16



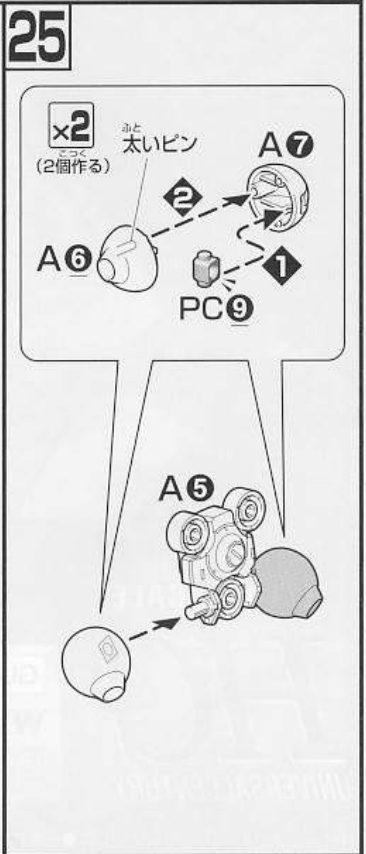
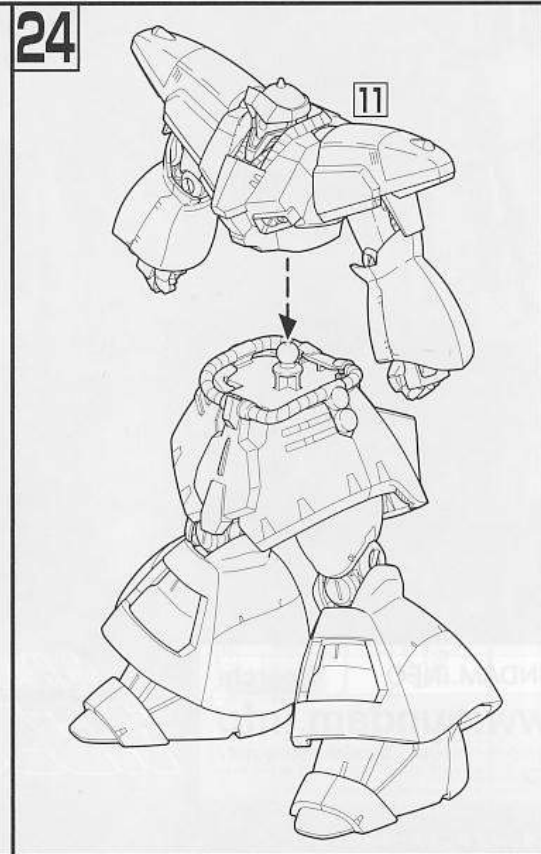
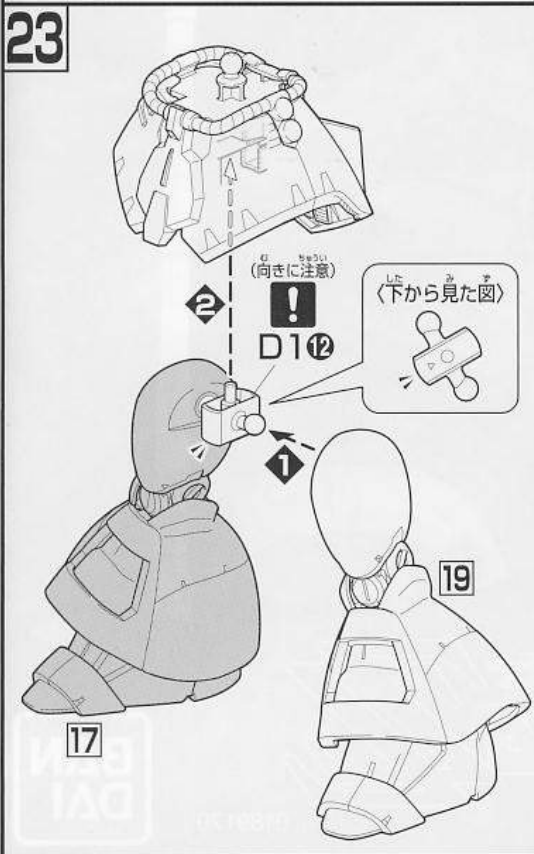
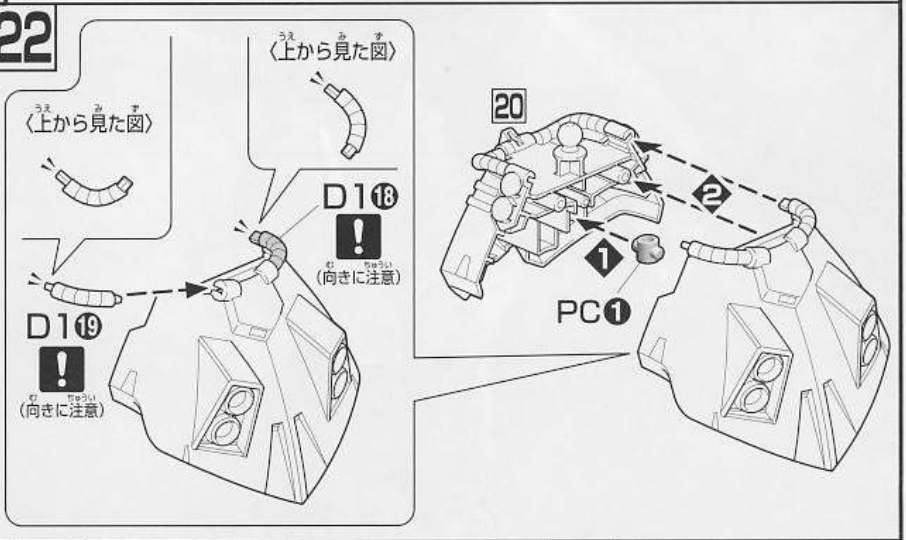
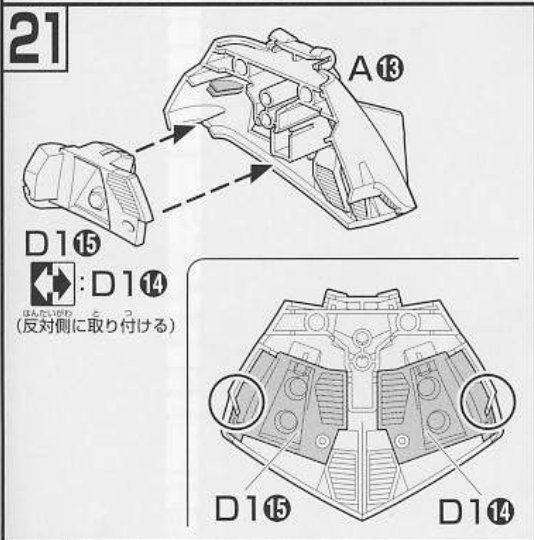
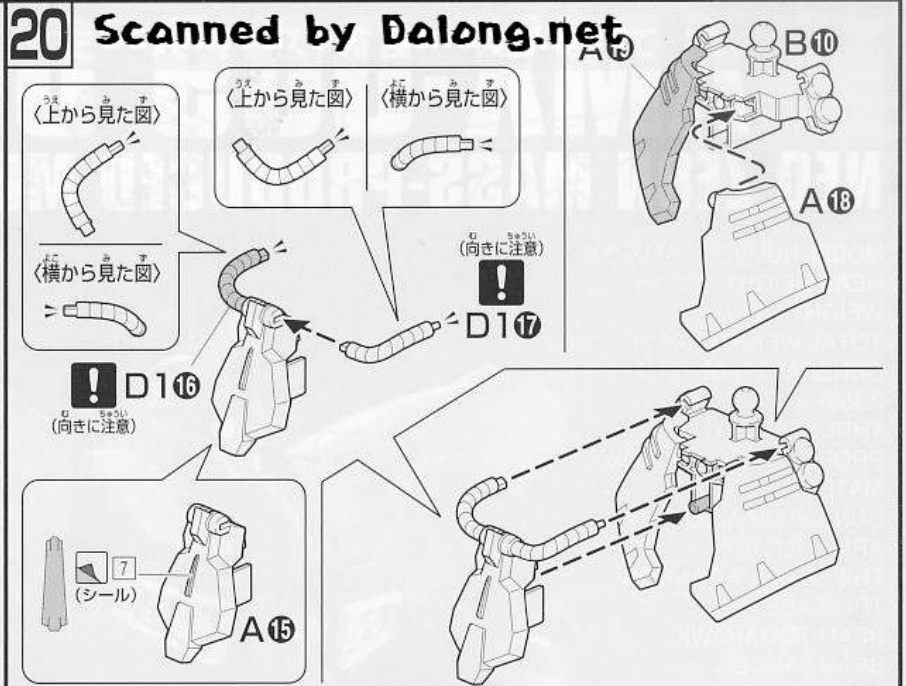
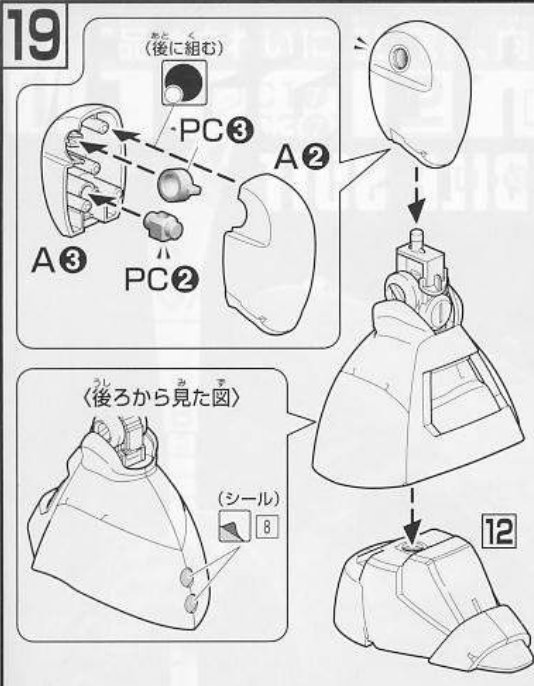
17



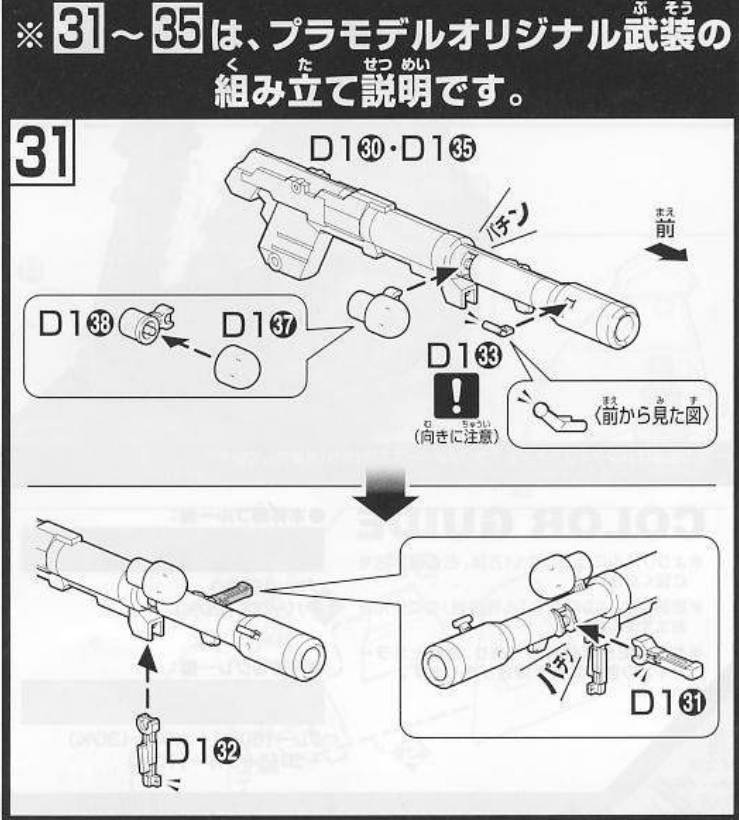
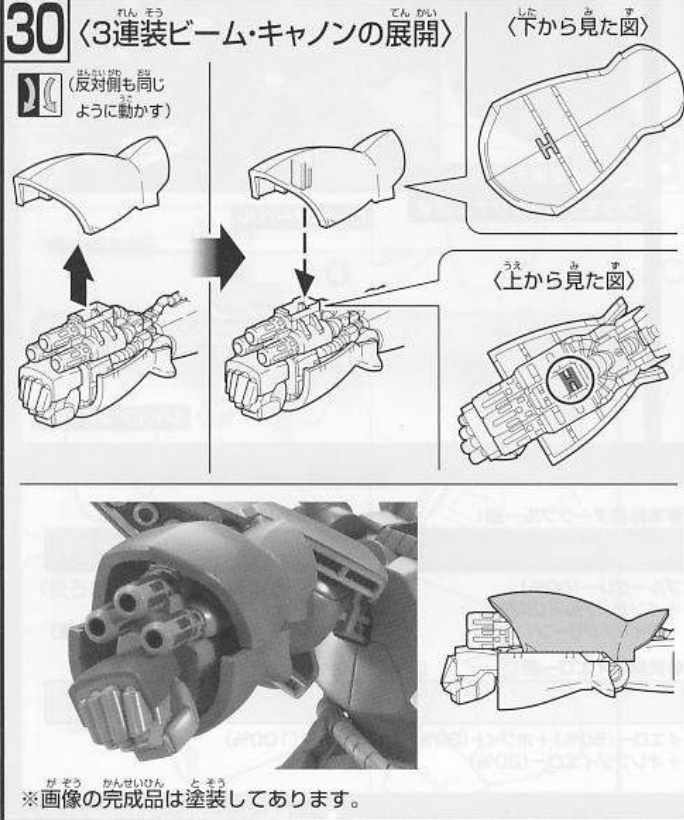
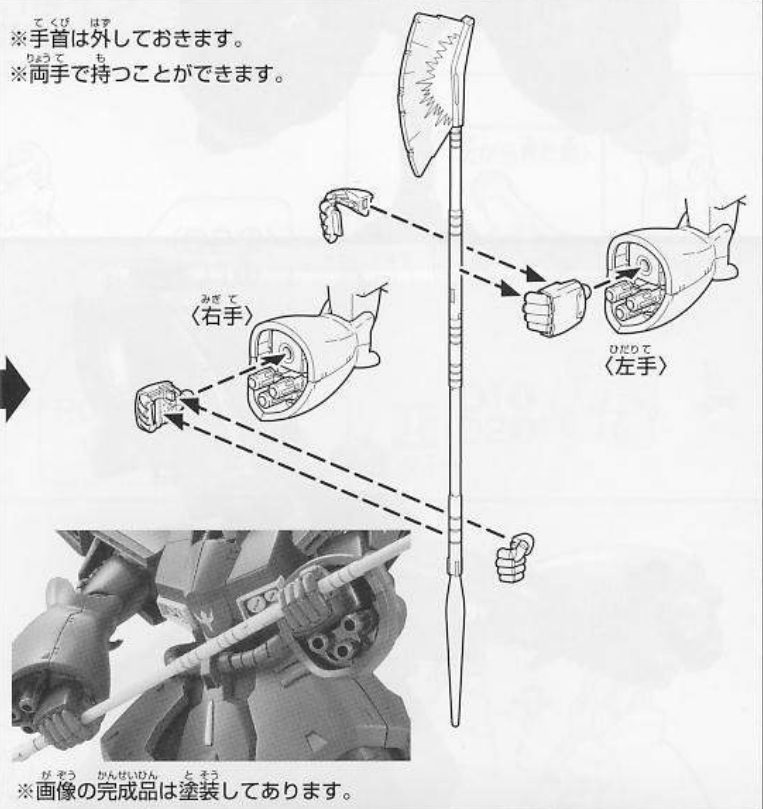
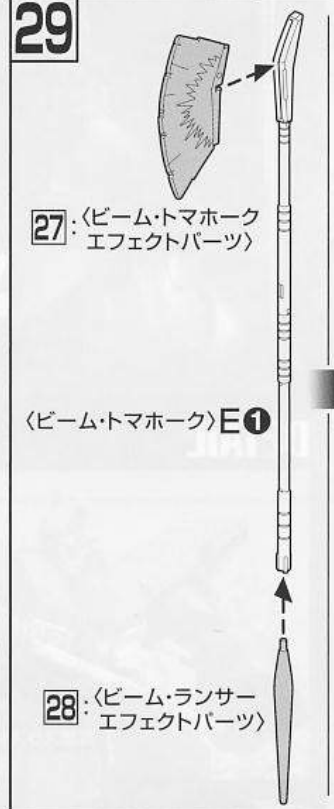
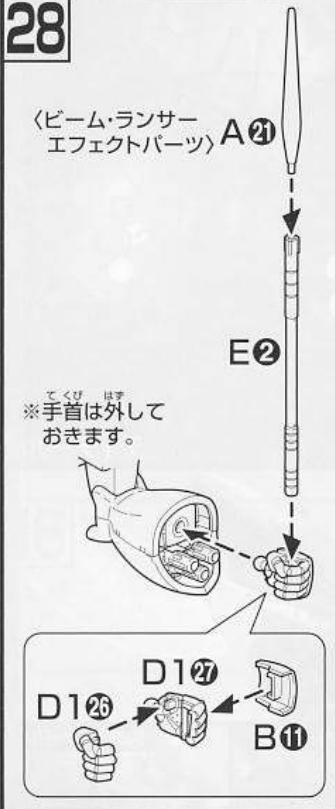
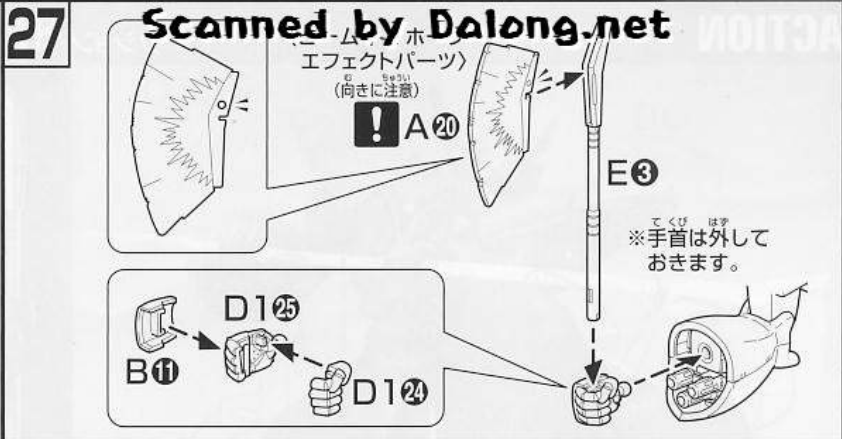
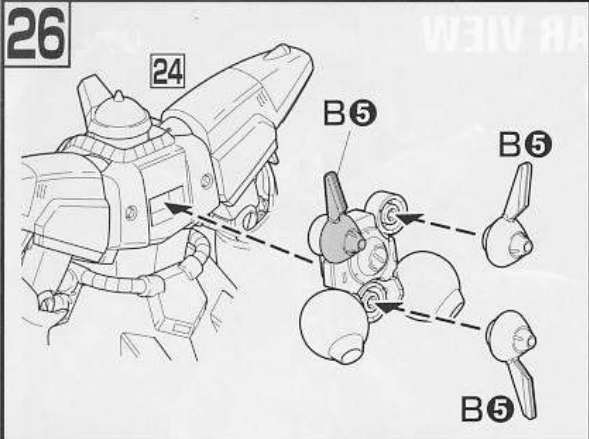
18





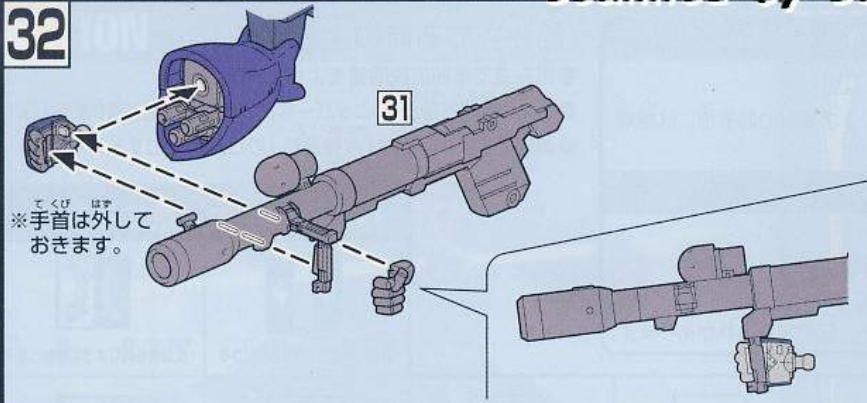




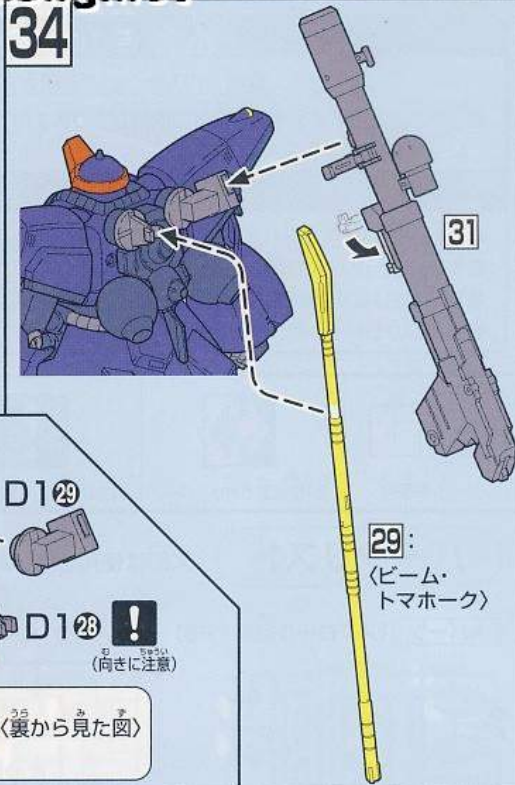




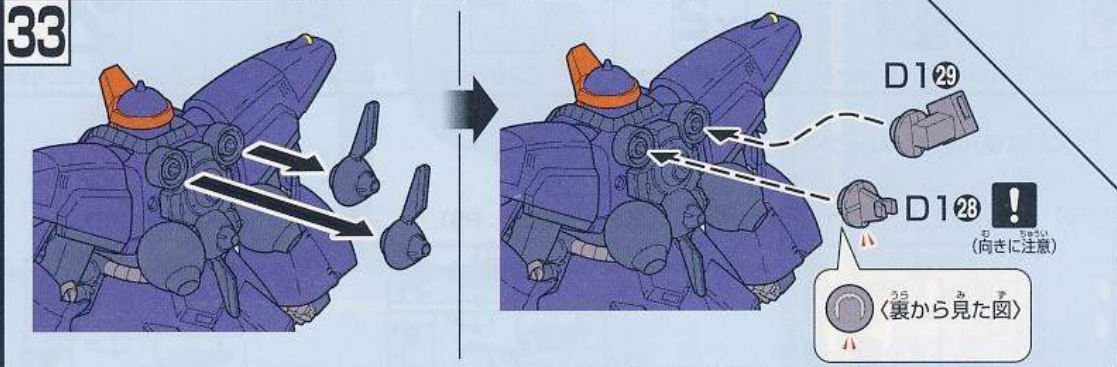
32



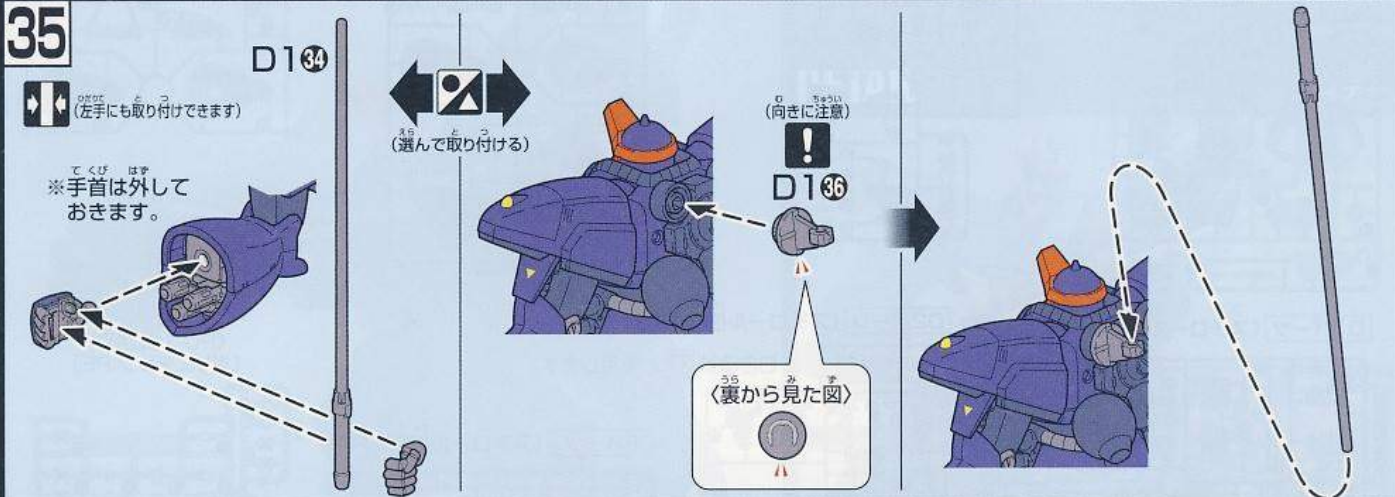
34



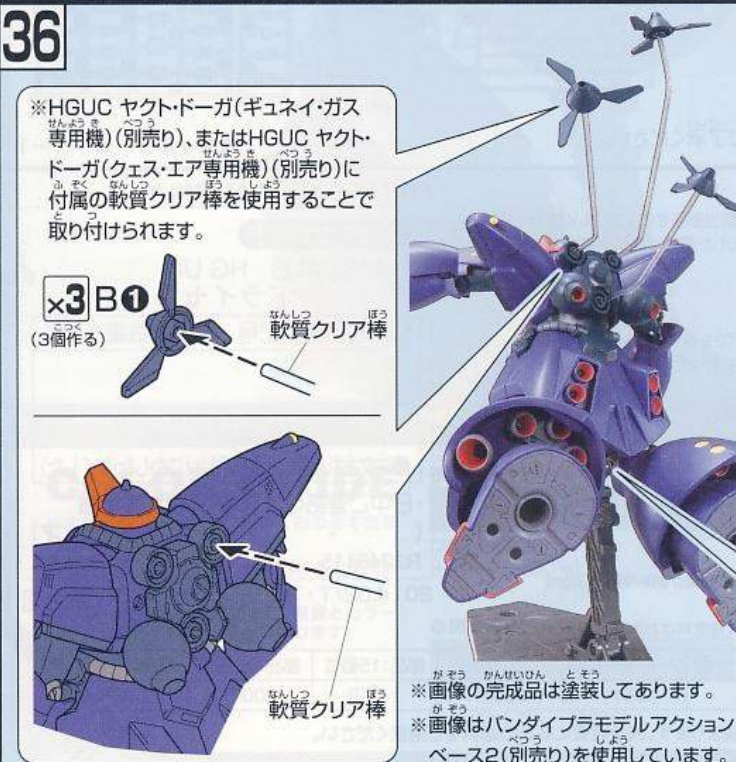
33



35



36



37

